

ハウスの中は メロン・スイカ・トマトでいっぱい



メロンの取り入れに忙しい平山さん

構造改善事業で始めた谷中温室組合では、温室八棟とパイプハウスで約四、〇〇〇坪を、組合員四人で経営しています。



立派に実をつけた・こだまスイカ

主な生産物はメロン・スイカ・トマトで夏〜冬作はトマト、春作はメロンとスイカの二回転。いま温室の中にはパイメロンがほどよく色ずき、なんともいえない甘い香りを一面に漂わせています。

収穫されているパイメロンは昨年の十二月の上旬に種まきをし、一月下旬に定植したものです。一株から二本のつるを出し、早いもので四個、遅いもので六個実をつけています。

ハウスの温度は日中三十度、地温を十五度〜二十度に保つようにし、夜間は日中に暖まった温水を利用し、地温を保っているそうです。

こだまスイカの出荷も五月下旬に始まり、いまは最盛期、忙がしくても笑顔はかくしきれないようです。

一年生を迎えて 歓迎ミニ運動会

橋場こども会

五月三日、橋場こども会では一年生を迎えて恒例の歓迎ミニ運動会を、児童遊園地で行いました。

当日は部落内に住む一一五人の児童が参加（うち今年一年生として迎えられた人十六人）。応援にきたお母さんも一生懸命（〇〇ちゃんがんばって、もう少しでぬけるよ、ホラ、もう少し）と、もうそれは夢中。五月の連休の一日、児童遊園地はお昼過ぎまで親子の甲高いかん声があがっていました。



4年生のあめだまさがし…

紹介します

スズメ蜂



橋場の鈴木登さん宅では昨年の夏、山を切り開いた所地上三十cm位の高さの枝に、スズメ蜂（くま蜂）の巣を見つけました。秋も深まり幼虫が全部外にでたのを確認してから巣を取ったとか。

昔からスズメ蜂は縁起がいとされ、鈴木さんのお宅でも大事に保存してありました。

久しぶりに家族と、話つきない

光楽園老人ホームで 花見会

憲法記念日の五月三日、光楽園老人ホームでは恒例の花見会が開かれました。

園内は一面緑のジュウタン：その上にゴザを引き、テーブル

をおいて、思いおもしろい食べものや飲み物を買ってきて家族やボランティアの人たちと仲良く食べるお年寄りからは、なごやかな笑顔が浮かんでいました。

また、園内にはいたる所にボランティアの協力による模擬の屋台が並び、どの屋台からも威勢のいい掛け声があとんで、園内をこだましていました。

なかには野外ステージで自慢の喉やおどりを披露して、拍手喝采を浴びる人、それぞれがとても楽しい一日を過ごしたようです。

